

令和4年度第1回監査委員会の指摘事項等の検討・改善状況

	指摘事項	検討・改善状況
1	<p>患者へのインフォームドコンセントの理解度の確認方法については、「はい」という回答を求めるような記載ではなく、「どのような手術をするか述べてください。」「どのようなリスクがあるか述べてください。」等、患者の言葉で表現させた方が理解度の確認ができる。書き方講習会等を実施し、いい例や悪い例を提示する等共通認識できる仕組みを推奨する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全推進室にて、患者への理解度の確認方法の例を明記した「IC・意思決定支援記録記載手順」を作成した。併せて、IC記録のフォーマットの変更も行い、ICの標準化を図った。 ・「IC・意思決定支援記録 記載手順」やIC記録のフォーマットの変更について、院内会議等で周知している。
2	<p>患者に渡す冊子（患者さんは医療チームの一員です）は、文字をもう少し少なくし患者に寄り添うような気持ちをあわせた方がよりよい冊子になるのではないかと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・冊子は、まだ実際に配布をしていないため、配布後に職員からの意見や反応を基に改善する予定である。